

やなせかぶ



花菖蒲

第59号 発行 2024年7月1日 柳瀬川町内会 広報部

一人の100歩より100人の1歩

会長 竹前栄二

組織の格言と言われることもあります。百人の社員に一歩ずつ歩んでもらうという地道な前進をいかに継続させていくか

にあると思っています。一人の百歩よりも百人の一步のほうがはるかにいい。日本電産社長 永守重信氏の言葉です。

柳瀬川町内会が発足して40年以上経ちました。設立の主旨は

- ① 町内会館の設立
- ② 常設排水ポンプの建設
- ③ 大排水路の暗渠化

以上三点の実現に向かって、代々の会長諸先輩の方々が活動をしてきました。

令和6年から「大排水暗渠工事」が始まり設立の主旨を実現することができました。

実現を達成できたのは「主題の格言」のように皆様方が目標に向かって一歩前進した活動を行ったからです。

私たち地域で何かしたい、「地域のために自分ができること」で参画したい「自分のできる時間に協力できれば」とボランティアの気持ちを持っている人は必ず地域にいます。

どこにでも存在する地域活動ですが、単で行うには中々実践活動がともわないのではないのでしょうか。

永守氏は個人の努力よりも、多くの人々が協力して取り組む方が効果的であり、大きな成果を上げることができると話されています。

百人の一步の格言は、町内会、地域社会や組織での協力と連帯を強調しています。

一人一人は小さな一歩でも、確実な一歩を踏みしめることで、大きな成果を生む。それと同時に、その一歩が一人一人にとって環境に目覚めるきっかけになる。

税金を使って何かを進めるには「一人より百人」が団結して要望しなければ実現できません。

税金とは「社会の会費」といわれます。公共施設、公共サービスを提供するために使われますから、個人で要望しても通りません。共により良い社会を作っていく為、広く公平に分かち会う為です。

町内会は地域の環境、防犯、防災、安全を守る為地道で目立たない活動していますが、格言のように一人一人が歩むことで実現できます。

これからも地域を守り発展の為、始めの一歩一歩を歩み、住みやすい地域にしていきましょう。

副会長交代のご挨拶

令和6年度より長らく副会長を務められた三班の伊藤さんから二班の菊地さんへバトンタッチしました。新旧副会長よりご挨拶をいただきました。

大役を終えて

三班 伊藤ふじ子

当時、田村さん、仁科さんに声を掛けられ、しゅしゅ受けた副会長ですが、仕事もしておりましたので何も分らず苦労したものです。

柳瀬川町内に住んで47年余り。市内一の小さな町内会ですが、花見、納涼会、バーベキュー等々行事もたくさんあり、大変な事もたくさんありましたが、土手の下でのお花見は最高です。

今では子どもたちから良く声をかけてもらうのが嬉しいですね。ついこの間まではワンパク坊主でしたのに……。

様々な事柄に触れ、世代交代を感じております。円安のせい

か外国人旅行者も増え、マナーもこれで良いのかと感じ、考え方も変わってきております。

あの頃は良かったなーと思うのは年のせいでしょうか(笑)あれから20年、月日の流れは早いものですね。今後の町内会の発展をお祈り致します。長い間有難うございました。



柳瀬川町内会について

二班 菊地政雄

町内会の皆さん、こんにちは。今年4月から副会長になった2

班の菊地です。私が柳瀬川町内会に越して来たのは、1980年(昭和55年)です。あれから、もう44年になりました。

町内会の思い出としては、ソフトボール・チームを作り、シーズン中はほぼ毎週日曜日に試合や練習をしました。志木市の大会で何度も優勝し、県大会に出場したこともあり、楽しい思い出です。ただ、その時の仲間1~3の人が亡くなり、寂しさとの流れを感じます。

さて、柳瀬川町内会について考えて見ますと、発足から50年以上経つと思えますが、

歴代の会長さんを中心とした関係者のご尽力により、念願の町内会館ができ、大排水路のポンプが設置されました。また、柳瀬川の水害予防のため、川底砂利浚渫を要望し、毎年工事が行われています。そして、最近の出来事では、「館大排水路改修事業」が決定しました。坂下橋の下流が、コンクリートで綺麗に蓋がされ、遊歩道が整備されます。今年9月頃から工事が始まり令和8年3月に

完成予定です。これも町内会の長年の活動による成果です。

このように町内会の大きな役割として、行政(市や県)に対し、防災対策・環境整備など様々な要望を行い、それが着実に実行されています。

一方、町内会内の交流は、新年会・花見会・納涼会・芋煮会などの年間恒例行事や、カッピー体操、趣味の会、カレット・電子ダーツ、カラオケと夫々茶話会が毎週行われています。

より多く人と交流し、話をする貴重な機会となつていきます。少しでも興味がある方は気軽に参加してみても如何でしょうか?

町内会に入っていると、会費や協力金の支払いや、班長など役割の負担もありますが、先程の事例のような町内会が果たしている役割と成果、そして色々な交流の機会があります。

今後とも柳瀬川町内会にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

館大排水路暗渠化事業

昭和五十六年の町内会発足以来の大きな課題として、六メートル道路の舗装化、町内会会館の建設、館大排水路の暗渠化がありました。このたび、念願がかない、昨年度より数億円の予算が付き、暗渠化の事業がスタートすることになりました。

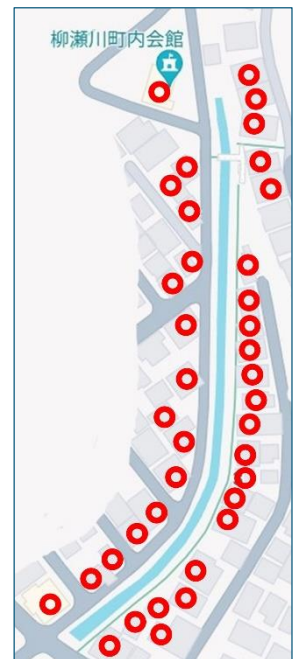
六月八日に、柳瀬川図書館において第二回の説明会がありましたので、その内容を簡単にまとめてみました。

【工事日程】

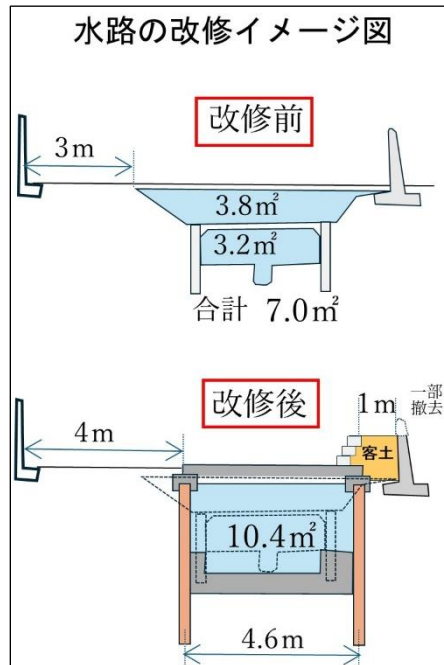
- 地質調査及び実施設計 令和五年度に終了
- 用地境界確定測量 令和六年八月末まで
- 地盤変動影響事前調査 令和六年八月末まで
- 館大排水路改修工事 令和六年九月頃着手
- 令和八年三月完成予定



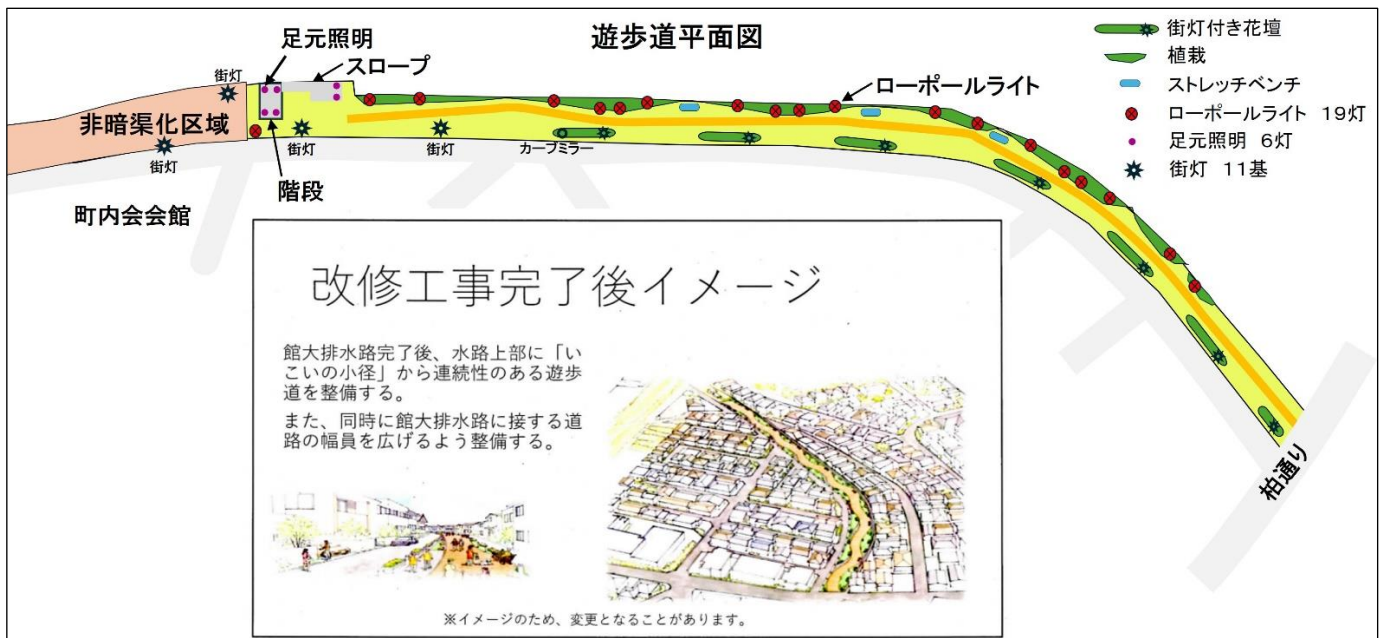
地盤変動影響事前調査は、改修工事による方が一の地盤変動で家屋の損傷があった場合の因果関係を明確にするため、下図の○印の家屋が対象となります。工事完了後にも工事の影響を確認するため、事後調査を実施予定。(令和八年三月以降予定)



水路の改修工事では、水路幅を拡幅し、水路用地を最大限活用して雨水貯留機能の強化を図り、現在の水路よりも六〇〇³m³程度貯留量を増加することができます。また、水路に蓋をかけることにより、左岸(柳瀬川町内会側)の幅員を現在の三メートルから四メートルに拡幅されます。



また、排水路の暗渠化によりできる遊歩道には、緑豊かな植栽や健康維持のためのあん馬・背伸び・腹筋ベンチが置かれます。さらに、十一基の街灯が設置されますので、防犯対策にもなります。





フォトレポート

今年度も柳瀬川町内では様々な活動を実施中。その様子を写真でご紹介します。



花見会
24.04.07



クリーン作戦
24.05.11



3町内会合同防災訓練
24.06.15





市内散策7

江戸時代の堤跡をのんびりと歩きながら、志木の歴史に思いをはせる

郷土資料館は、新耐震基準以前に建てられた為、耐震性能が不足しており、また、耐用年数も経過していることから、安全性の確保のため、埋蔵文化財保管センターと複合化され、市民と共に郷土資料を総合的に保存・活用するための拠点として整備され、令和8年度から供用されることになりました。

そこで、今回の散策では、市役所をスタートして、郷土資料館を含む、約三キロメートルのコースになります。

市役所→**天神社**(300m)↓
実蔵院(900m)↓**郷土資料館**
 (1100m)↓**せせらぎの小径**
 ↓**虚空蔵菩薩**(1500m)↓**三日月湖コース**↓**水天王石碑**
 (2200m)↓**旧村山快哉堂**

【天神社】



祭神は、菅原道真公で、配祀神として、春日大神と八幡大神が祀られています。

創立年代は不詳ですが、一説として寛永三年（1626年）江戸の湯島天神を分祀したものと伝えられておりますが、これとは別に、後に代々名主役を務めた木下氏の先祖にあたる山口大膳が山口（現所沢市）から来住した際に出身地の氏神を分祀してきたという説もあります。

菅原道真公は、学問の神様と

して有名ですが、この神社は五穀豊穡の神として、昔から中宗岡付近の鎮守社として崇敬されてきています。その関係か、周りには農協やお米屋さんがあります。例年、本町通りをメインに行われる敷島神社祭典より二週間ほど先に、天神社を祭典本部として、いろは橋通りをメインに宿組八坂神社祭礼



が行われ、御神輿の渡御があります。また、その時に披露される郷土芸能の狐童演舞は、非常に見ごたえがあります。

【実蔵院】

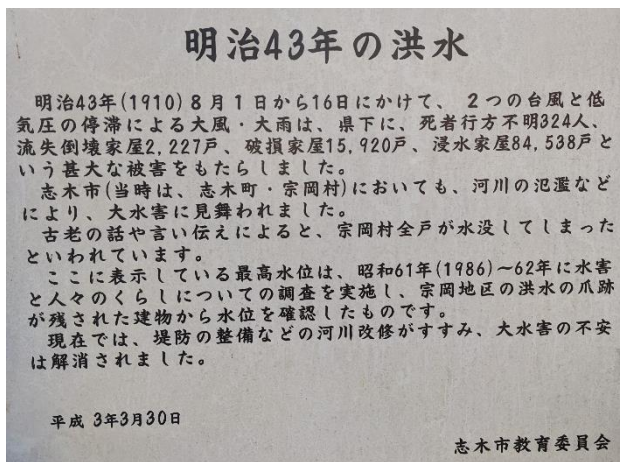
真言宗智山派寺院の実蔵院は、正式には蓮華山無量寿寺実蔵院と称し、言い伝えによれば、行

者澄平が沼で投網をした際に網にかかってきた銅製の阿弥陀如来像を本尊として、元和三年（1617年）に創建した創庵がその始まりといわれており、澄平はその後信州に赴いたため、草庵はしばらく無住となっていました。明暦三年（1657年）三月に沙門宥啓が再興して、実蔵院と号したと伝えられています。その後、当院第三世住職の傳英（寛保二年1742年寂）が中興開山したといえます。宝暦十二年（1762年）には、志木市の同宗派寺院の宝幢寺の末寺となりました。



【郷土資料館】

入り口付近の表示板は明治四三年（1910年）8月の台風による大水害時の最高水位を示しています。



【せせらぎの小径】

せせらぎの小径は、中宗岡一丁目から五丁目にわたる1300mほどの散策道ですが、今回のコースは、南側700mほど

になります。

中央に人工的に作られた小川がゆったりと流れ、その両側にはアジサイ、コブシ、クスノキ、ヤマモモ、キンメツゲ、イロハモミジ、ロウバイ、ビワなどの豊富な種類の木が楽しめます。また、ソメイヨシノも多く植えられています。桜の季節には最高な散策道になっています。途中ベンチなどもありますので休みながら散策するのもおすすめです。



【虚空蔵菩薩】

元禄一二年（1699年）に造立されたもので、昔この地にあった虚空蔵池で溺死した娘の供養と眼病をあの世で治してくれるようにとの願いをこめて、娘の祖父と父が造立したものといわれており、特に眼病の人から厚く信仰されてきました。



【三日月湖コース】

この散策路は、江戸時代の堤跡を歩くコースになります。このコースの途中、旧字名を振袖と呼ばれた場所に水天王の石碑（1789年）があります。これは天明6年（1786年）の大洪水の後に水神に祈願した物と思われる。さらに進むと、親水公園内にも水神宮の石碑（1807年）があり、昔の新河岸川は、今と違い非常に激しく蛇行しており、この地区ではたびたび洪水を起こしていたことがうかがわれます。さらに詳しくは、志木市郷土誌に記載されています。





高尾山クロス



1		2		3		4	5	
		6 ★				7		★
8	9			10	11 ★			
12			13				14	
15		★	16			17	18	
			19			20 ★		21
		22 ★			23	24		25
26			27					28 ★
29						30		

ヒント：星印のマスには『オイシイクウキ』が入る

【ヨコのキー】

- ① 四季折々の○○○を楽しむ
- ② 都心からの交通の○○に恵まれていて、日帰りでもゆつくりと散策できます
- ③ スイッチの「切」
- ④ 野生動物、森、高山植物など、高尾山はこの宝庫
- ⑤ 風光明媚な高尾山を歩きながら一句詠む

- ⑥ 高尾山の各休憩所に設置されていますが、ティッシュのご用意を！
- ⑦ ○○なので、不在通知を入れておきます
- ⑧ アップ○○○を繰り返して山頂を目指します
- ⑨ カンバスの大きさの単位
- ⑩ 高尾山の男坂では、一段一段踏みしめながら、百人段登ります
- ⑪ みそ汁の具にする小さな貝

【タテのキー】

- ① 清滝駅から展望台がある高尾山駅まで、大勢で乗っていきます
- ② 荒々しく恐ろしい神。おにがみ
- ③ 尾根道まで売店がないコースもあるので、これを持参したほうがいいですね
- ④ 姉が生んだ男の子
- ⑤ ホクホくと鳴く、高尾山の森の番人
- ⑥ 絶好の山登り日和
- ⑦ 外食？ いえいえ、自分で○○○します
- ⑧ 収入○○○とは、租税や手

- ⑨ 一身上の○○○で退職します
- ⑩ 風や虫の声など、いろんな○○が聞こえてきます
- ⑪ 高尾山では、車やバイクはもちろん、これの乗り入れも禁止！
- ⑫ 高尾山は明治の森高尾国定公園に指定されていて、動植物などが○○○されています
- ⑬ 祭りの花形だ！
- ⑭ ワツシヨイ！
- ⑮ キノコを作る本体
- ⑯ ドラマなどの一連のもの
- ⑰ 憩いの場所。高尾山は都心から50分の東京の○○○○

- ⑱ 数料等の収納金徴収のために政府が発行する証票
- ⑲ 高尾山名物の串に刺さった和菓子
- ⑳ 高尾山の思い出と一緒に、出した○○○は各自持ち帰りましょう
- ㉑ 逃げていくウサギのように速いことのとたとえ
- ㉒ 高尾山駅から山頂までの登山所要○○○は約40分かかります
- ㉓ 神社と同じ地域に住み、その地の氏神を信仰し、神社のお世話する人たち
- ㉔ 冬の山頂から眺める富士山の真上に沈む夕日は、シャッター○○○○！
- ㉕ 人にごちそうすること
- ㉖ 大切に育てることを、何にかけるという？
- ㉗ 寄せ書きやサインに使う。我が街もこれから、さらに、住み良くなつてほしいですね
- ㉘ ミシユランが、富士山と並んで高尾山に三つつけたもの
- ㉙ 登山コース6号路の中腹にある「びわ滝」から、ドドドッと流れ落ちています

編集後記



竹前 恵美子

先日、都幾川町の花菖蒲を見に行きました。

白、青、紫と涼しげな色の花に癒されます。5月に行った秩父の芝桜は見頃を逃し、天空のポピーは雨で閉園、念のため近くまで行ってみましたが、霧が深く全く見えませんでした。花はタイミングが難しいですね。

広報部は今年度から宮川さんにかわり、三井さんが編集を担当することになりました。どうぞ宜しくお願いします。宮川さん長い間ありがとうございました。次は60号！

結川 一義

よく健康のために一万歩を歩きましょうと言われていますが、高齢者は、5千歩程度でも健康寿命を延ばすことができるみ

たいです。志木市では散策コースに、昨年度50基、今年度50基の【はしらベンチ】を設置してくれていますので、休み休みしながら、のんびりと散策を継続していきたいと思っています。

三井 康継

心強い広報部のメンバーのお陰で無事に「広報やなせがわ」第59号が完成しました。前回、自身が作成に携わったのは12年前。当時2歳の無息子は現在中学2年生。娘に至ってはまだこの世に誕生していませんでした。つい最近と思いついていたのにビックリです。



■クロスワードの答え

1	ケ	シ	2	キ	3	ベ	ン	4	オ	5	フ		
	ー		6	★シ	ゼ	ン		7	ハ	イ	★ク		
8	プ	9	ジ	ン		10	ト	11	★イ	レ	ロ		
12	ル	ス		13	ダ	ウ	ン		14	ゴ	ウ		
15	★カ	イ	16	★ダ	ン		17	シ	18	ジ	ミ		
	ー		19	ツ	ゴ	20	★ウ		カ		21	チ	
		22	★オ	ト		23	ジ	24	テ	ン	25	シ	ヤ
26	ホ	ゴ		27	ミ	コ	シ		28	★キ	ン		
29	シ	リ	ー	ズ		30	オ	ア	シ	ス			



柳瀬川町内会ホームページ

<http://yanasegawa.life.cocan.jp>

広報やなせがわ・第59号

【編集】

柳瀬川町内会 広報部
竹前・結川・三井